

日本画像学会  
第 37 回 フリートーク “Imaging Today”  
「カプセル化技術」

日本画像学会誌 246 号(2020 年 8 月発行)の特集 “Imaging Today” では、「カプセル化技術」を取り上げています。画像形成技術を支える材料技術、特に記録材料としてのトナー、インクそして電子ペーパーの表示材料においては広くカプセル化技術が展開されています。カプセル化技術、さらにはマイクロカプセル化技術を用いることによって、シェルが内容物を保護し、狙い通りの機能性を様々なターゲット条件のもとに発生させることが可能となってきています。また、今まで取り扱いが容易でなかった材料をカプセル化することによりハンドリング性能を向上させることにも成功してきています。

今回の Imaging Today では、このカプセル化技術に着目し、特集を組むことといたしました。あらためてマイクロカプセルの作成技術を解説いただくと共に、カプセル化・マイクロカプセル化技術の応用展開、新機能材料などの技術解説をご執筆いただいております。この特集が皆様の研究開発における一助となることを期待しております。

**開催日時:** 2021 年 3 月 15 日(月)  
**開催方式:** Zoom を利用したオンライン開催

**プログラム: テーマ「カプセル化技術」**

(日本画像学会誌 246 号掲載)

13:15~13:20	開会の挨拶	日本画像学会 事務局長 竹内 達夫
13:20~14:00	森下仁丹におけるカプセル技術とその展望	森下仁丹(株) 西川 雄大
14:00~14:40	感熱・感圧記録材料におけるマイクロカプセル技術 (休憩)	富士フイルム(株) 島田 浩一
14:45~15:25	マイクロカプセルの現状と応用展開	新潟大学 田中 真人
15:25~16:05	ポリマーを用いた自己修復材料の動向とそのアプローチ (休憩)	大阪大学 大崎 基史
16:10~16:50	電子写真におけるカプセル化技術	山崎国際コンサルティング 山崎 弘
16:50~17:00	閉会の挨拶	日本画像学会 編集委員長 中村 一希

※プログラムは都合により変更の可能性もありますので、学会 web サイトで直近の情報をご確認ください。 ※敬称略

- 開催案内: 対面講演は開催せず、Zoom によるオンライン開催のみとします。

参加 URL は、参加費お支払いの方に 3 月 12 日頃送付します。

- お申込み: 下のリンクまたは右の QR コードから、3 月 5 日 17 時までに申し込みください。

<https://questant.jp/q/M29V34K1-37th-freetalking>

- 参加費: 会員/協賛学会会員:2000 円、非会員:5000 円、学生:1500 円

受付完了確認メールにデジタル請求書を添付します。

送付するデジタル請求書記載の振込先に指定の期日までにお支払い下さい。

\*3 月 8 日までに参加費の振り込みがないか、振込をされた方の確認が出来ない場合参加のための URL などのご連絡が出来なくなりますのでご注意ください。

(別の支払方法をご希望の場合は Web 参加登録後、学会事務局にお問合せ下さい)



- 主催: 一般社団法人 日本画像学会

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学

TEL 03-3373-9576 E-mail [event\\_registration@isj-imaging.org](mailto:event_registration@isj-imaging.org)

ホームページ <http://www.isj-imaging.org/isj.html>

- 企画・運営: 日本画像学会 編集委員会